



学校だより

かりがね

富士市立岩松中学校
令和5年10月学学結果号

学校教育目標 「いつでも自分から動く子」「わたしもあなたも大事にする子」「学びを楽しみ、表現する子」「つながりながら成長する子」



令和5年4月18日に全国学力・学習調査が実施され、結果が届きました。本号では、結果からわかる本校の成果や課題などについて考察し、これからの指導に生かしていきたいと思ひます。また、質問紙からわかる課題については学校だけでなく、保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

～全国学力・学習調査とは～

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われています。文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。今年度は英語の「話すこと調査」も行われました。

本校の調査結果と課題

1 全国学力学習状況調査の各教科の状況から

【国語科】

○話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができる。また、聞き取ったことを基に目的に沿って自分の考えをまとめることができる。

○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。

○古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができる。

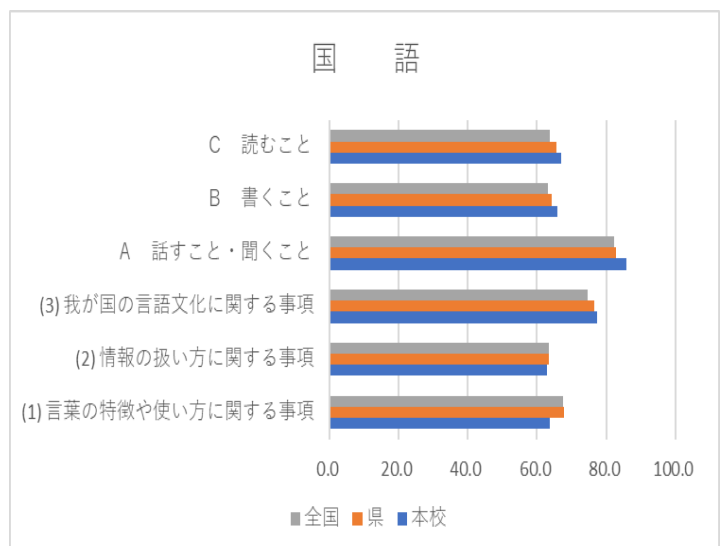
○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

●観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることに課題がある。

●文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

～考察～

右のグラフは国語の項目ごとの結果です。おおむね全国平均を超えています。特に「語る」ことを授業や学校生活の中で多く取り入れているため、話すことの結果が高くなっています。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、今後も漢字の学習で例文づくりを通して言葉の使い方を磨いていきたいと思ひます。



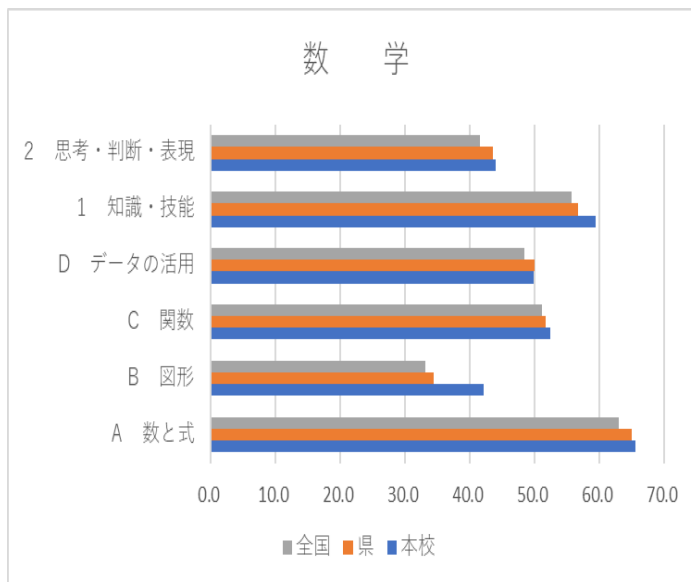
【数学科】

- 自然数の意味を理解している。
- 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。
- 累積度数の意味を理解している。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明できる。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。
- 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる。
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することに課題がある。

～考察～

「知識・技能」の項目、つまり計算問題等の基礎的な力がついているようです。さらに、仲間との協働的な学習を通して、「思考・判断・表現」の項目も力を付けてきています。

学年の傾向として得意とする図形分野を生かしながら「思考・判断・表現」により一層力を入れていきたいと思えます。

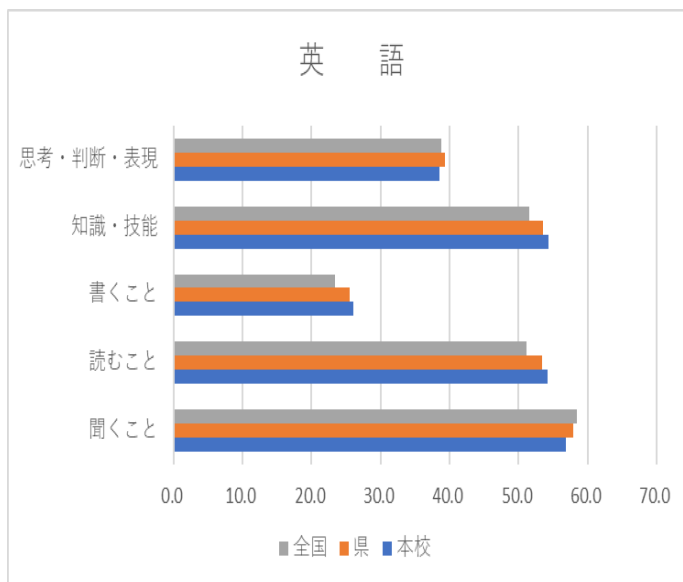


【英語科】

- 情報を正確に読み取ることができる。
- 文と文の関係を正確に読み取ることができる。
- 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる。
- 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができる。
- 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる。
- 情報を正確に聞き取ることに課題がある。
- 日常的な話題について自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることに課題がある。
- 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことに課題がある。

～考察～

英語科の授業の中で、テーマに沿った英文づくりや会話練習を多く取り入れた学習を行っているため、基礎的な「知識・技能」が備わり、「書くこと」の力が平均よりも高い結果になったと考えています。また、「長文」を読む練習も行っていることから、「読むこと」が全国平均を上回る結果となったと思われます。今後も基礎に力を入れつつ、英文づくりや会話練習など応用的な学習の幅を広げ、英語力をつけていこうと考えています。



2 質問用紙の状況* 県や全国と比較して高い数値のときはプラス、低い数値の時はマイナス表示です。

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」 89.3%(県 7.1・全国 7.5)
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」 82.5%(県 3.0・全国 4.9)
- 「学校の部活動に参加していますか」95.5%(県 10.1・全国 13.7)
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」88.7%(県 7.9・全国 11.1)
- 「国語の勉強は好きですか」71.7%(県 8.9・全国 10.3)
- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」92.1%(県 80.1・全国 80.0)
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」92.6%(県 3.4・全国 3.9)
- 「数学の勉強は好きですか」62.1%(県 5.2・全国 5.4)
- 「数学の勉強は大切だと思いますか」88.7%(県 4.0・全国 3.7)
- 「解答時間は十分でしたか(数学)」85.3%(県 11.8・全国 10.3)
- 「解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと)」」75.1%(県 9.5・全国 6.5)
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」74.0%(県-3.7・全国-4.0)
- 「自分には、よいところがあると思いますか」76.8%(県-3.8・全国-3.2)
- 「将来の夢や目標を持っていますか」63.2%(県-3.3・全国-3.1)
- 「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」57.6%(県-7.0・全国-5.6)
- 「英語の勉強は大切だと思いますか」83.1%(県-4.9・全国-5.3)
- 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」80.2%(県-7.8・全国-7.3)
- 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」28.8%(県-6.8・全国-7.9)
- 「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)」18.6%(県-10.2・全国-11.4)
- 「1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」
51.9%(県-13.3・全国-11.9)
- 「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」66.1%(県-14.2・全国-12.6)
- 「今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」 38.3%(県-7.1・全国-6.9)
- 「解答時間は十分でしたか(英語「話すこと)」」36.0(県-4.9・全国-9.5)

* 生徒質問紙より抜粋

質問事項		選択肢				1 + 2	本校との差
		1 (とても当てはまる)	2 (やや当てはまる)	3 (やや当てはまらない)	4 (全く当てはまらない)		
朝食を毎日食べていますか	人数	131	29	11	6		
	本校	74.0	16.4	6.2	3.4	90.4	
	県	79.0	13.3	5.2	2.4	92.3	-1.9
	全国	78.6	12.6	5.9	2.9	91.0	-0.5
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	人数	93	68	12	3		
	本校	52.5	38.4	6.8	1.7	90.9	
	県	52.2	38.4	7.8	1.3	90.6	0.3
	全国	54.8	36.5	7.0	1.4	91.3	-0.4
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	人数	77	82	16	2		
	本校	43.5	46.3	9.0	1.1	89.8	
	県	39.8	48.1	9.5	2.4	87.9	1.9
	全国	40.0	47.3	9.7	2.8	87.3	2.5
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	人数	74	88	13	1		
	本校	41.8	49.7	7.3	0.6	91.5	
	県	42.5	47.1	8.9	1.4	89.6	1.9
	全国	43.7	45.2	8.9	1.8	88.9	2.6
人が困っているときは、進んで助けていますか	人数	59	101	12	5		
	本校	33.3	57.1	6.8	2.8	90.4	
	県	37.3	51.4	9.7	1.2	88.7	1.7
	全国	38.4	49.7	9.7	1.5	88.1	2.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	人数	144	30	2	1		
	本校	81.4	16.9	1.1	0.6	98.3	
	県	78.6	16.9	3.0	1.1	95.5	2.8
	全国	80.3	15.2	2.8	1.1	95.5	2.8
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	人数	47	74	37	19		
	本校	26.6	41.8	20.9	10.7	68.4	
	県	30.1	35.9	23.2	10.2	66.0	2.4
	全国	31.2	35.2	22.1	10.7	66.4	2.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	人数	114	53	8	2		
	本校	64.4	29.9	4.5	1.1	94.3	
	県	72.4	22.6	3.3	1.0	95.0	-0.7
	全国	71.7	22.9	3.3	1.3	94.6	-0.3
友達関係に満足していますか	人数	108	54	15	0		
	本校	61.0	30.5	8.5	0.0	82.5	
	県	53.8	34.7	8.4	2.3	79.5	3.0
	全国	55.3	33.4	7.9	2.4	77.6	2.8
普通の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	人数	55	100	18	4		
	本校	31.1	56.5	10.2	2.3	87.6	
	県	40.2	46.5	11.3	1.1	86.7	0.9
	全国	40.9	45.9	10.9	1.3	86.8	0.8

全国学力学習状況調査を終えて…

本校では、重点目標を「主体性を高め、語り合う学校」として、学習活動だけでなく、学校生活の中で「語り合う」場面を意図的に設定し取り組んできています。「語る」ことは一人でもできます。「語り合う」ことによって仲間と意見を交換し、考えを深めることができます。今年度の全国学力学習状況調査の結果を振り返ると、おおむね全国平均を超える項目が多く見られました。このような結果に結び付いたことの原因の一つとして考えられるのは、「語り合う」活動を日々繰り返すことにより、考える力がついたり、仲間と助け合うことの大切さを学んだりすることができたのではないかと考えています。

これからの時代、先を予測することがますます難しくなってきます。そのような中でも、他者と語り合う力が、新たなものを生み出したり、困難を克服する力になっていったりします。「どうしても人と会話をするのが苦手」という人もいるでしょう。そのような場合はICTも上手に使いながら、他者と関わり、自分の思いを発信し、自己を高めていけるとよいのではないのでしょうか。